

会 議 録

会 議 名	第20回 宇都宮市環境審議会 会議録					
開 催 日 時	平成22年2月10日（水） 午後1時30分～午後3時5分					
開 催 場 所	宇都宮市役所 議会棟3階 第2委員会室					
出 席 者	環境審議会 委 員	木村 由美子		櫻井 啓一	山田 孝英	
		真壁 英敏	欠席	大久保 忠旦	上田 高嘉	
		高橋 若菜	欠席	和田 尚久	欠席	橋本 康夫
		恩田 光憲		加藤 一克	欠席	豊崎 喜美子
		徳原 龍樹		三宅 徹治		松江 比佐子
		靄蒔 邦博		豊口 政子		水科 進
		稲葉 豊		小峰 哲夫		
	市 長	宇都宮市長 佐藤 栄一				
事 務 局	津田宇都宮市環境部長 他21名					
公開・非公開	公開・傍聴人 2名					
諮 問	第2次宇都宮市環境基本計画について					
議 題	<p>1. 議 事 協議事項 (1) 「第2次宇都宮市環境基本計画」について</p> <p>2. その他 (1) 「プラスチック製容器包装」等分別について</p>					
協議結果	<p>1. 議 事 協議事項 (1) 「第2次宇都宮市環境基本計画」について了承</p>					

発言要旨 報告事項（１）「第２次宇都宮市環境基本計画」について	
大久保 会 長	● それでは早速、議事に入りたいと思います。「宇都宮市環境基本計画」について、まず、事務局より報告をお願いします。
事務局	● まず事務局から、「第２次宇都宮市環境基本計画」策定方針まで、ご説明します。 －資料に基づいて報告－
大久保 会 長	● ありがとうございます。ただいま、「第２次宇都宮市環境基本計画」策定方針、資料の２、別紙２－１まで事務局より説明がありましたが、ご意見ご質問はありますでしょうか。 －質問なし－ ● では、引き続き説明を、お願いします。
事務局	● それでは、別紙２－２の資料をご覧ください。「第２次宇都宮市環境基本計画」骨子（案）をご説明しますが、先ほどの別紙２－１につきましても、この後、ご意見ご質問をいただければと思います。 ● 別紙２－２の、「第２次宇都宮市環境基本計画」骨子（案）につきましては、途中（１～３章）までの骨子（案）ということでご協議いただければと思います。別冊の本編案も一緒にご覧いただきたくお願いいたします。 －資料に基づいて報告－
大久保 会 長	● 別紙２－２と、別冊の内容について、事務局から説明がありました。計画策定にあたっての、基本的な考え方や方針について、委員の皆様の共通認識を図りたい、という意味合いだと思われませんが、このことにつきまして、何かご意見、ご提案ご質問等はございませんか。
恩田委員	● 基本的なことですが、平成１５年から、第１次の環境基本計画が始まり７年間経ったわけです。今回、第２次ということで、それを踏まえての改定になるかと思われませんが、第１次の達成度によって、第２次の計画が変わってくると思われそうです。達成度とか、それを踏まえての反省点とか、どのように変えていきたいかなど、基本的なことではよいので教えていただきたい。
大久保 会 長	● 達成度などについて、事務局いかがでしょうか。
事務局	● 「宇都宮の環境」をお開きください。それぞれの個別の施策については、先ほど資料説明の中でご説明しましたが、133ページでは、環境基本計画自体の総括として、まとめているところです。施策の進捗状況や、全体の中で残ってしまった課題などについて、毎年１回報告をしており、これは２０年度版なので、今年で６回目の報告書になりますが、毎年このようなことで評価や総括を行なっているところです。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 本編案でいいますと、39ページからになりますが、分野毎にまとめたものがありまして、例えば39ページの資源利用・地球温暖化という項目では、資源エネルギーの問題について、地域における温室効果ガスの排出量が年々増えている、という課題もごございます。また、廃棄物については、減っていますが、リサイクル率が伸び悩んでいるということで、総括としまして、「北関東を代表する産業都市という立場からも、循環利用と低炭素に向けた取り組みを進め、大量生産・大量消費・大量破棄型の経済からの脱却を図っていくことが重要となっている」とまとめております。
大久保 会 長	<ul style="list-style-type: none"> ● 恩田委員よろしいでしょうか？
恩田委員	<ul style="list-style-type: none"> ● はい。わかりました。
三宅委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 恩田委員のご意見は、大きい意味でPDCAを明らかにしてはどうかというご指摘だと思います。説明された別紙2-1は大きな流れでは書かれているのですが、この中に第1次環境基本計画の総括的なものと、これが出来て、これが出来なかったということが明確に書かれていれば、次のターゲットのあり方につながってくる、そういうゲートが必要ではないかというご指摘だと思います。 今の説明の中でも、一部説明がありました。もう少し仔細に見て行く必要があるのではないかという気がします。 前回の会議の際にも言いましたが、ずっと達成できていない項目もありましたし、それはどうすればいいのだろうかということを、この際、考える必要がありますし、第1次環境基本計画の達成度合いをしっかりと抑える事は、基本として必要ではないかなと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料2-1の基本目標、別紙2-2の現状の課題の部分になりますが、そういったところで、概略や大きなところの総括やチェックについて、もう少し分かりやすく工夫するように、また、次のステップにつながるように、努めます。
三宅委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 先ほど、ご説明のありました、39ページの、例えば、水資源についても着実に実施しているという一行で終わっていますが、個々の川の汚染などを見てみると、ずっと達成されていない環境指標などもあるわけですので、ぜひ、これまでの結果を活かすという意味で、総括をされるといいのではないのでしょうか。
大久保 会 長	<ul style="list-style-type: none"> ● よろしいでしょうか。他にご意見はないでしょうか。
櫻井委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 「宇都宮の環境」の中の61ページに、統計がグラフで載ってまして、ごみの減量とリサイクル率がグラフで載っていますが、宇都宮市においては、事業系ごみが平成19年4月から有料化になったこともあり、それに伴って、多少なりとも事業者の努力した結果が、ごみの減少の結果に出ているのではないかと考えますが、いかがでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● ただ今のご質問とおり、平成19年に事業系ごみの、ごみステーションへの排出禁止、すなわち有料化になったわけですが、その導入によりまして、事業系ごみが減ったというよりは、家庭系のごみから、かなり事業系のごみが抜かれまして、家庭系のごみが約1割減ったということがございます。

櫻井委員	<p>● ごみ減量や廃棄物の問題を含めて、ごみの問題に関しましては、廃棄物減量等推進審議会でも検討していると思われませんが、今、全国の自治体の中でも6割が一般の家庭ごみも有料化している中で、その辺についても今後、取り組んでいくのかを、検討していく必要があるのではないかと思います。</p> <p>その中で、岡山市の事例ですが、一般家庭のごみを有料化したことにより、可燃性のごみが約22%減り、不燃性ごみも約44%減り、その代わりに、資源ごみが約32%増えたわけですが、それによって、循環型社会が推進して行っている状況です。</p> <p>一般家庭のごみ袋の有料化についても、ごみ袋を、リッター1円、10リッター10円で、買っていただいて、それを環境に利用する財源的な役割も果たしているわけですが、その辺も含めて、今後どのようなことを、環境という括りでやっていくのか考えていく必要があるのでは、と思っており、今、議会でも特別委員会で、検討している状況ではありますが、ごみの減量等については、循環型社会の中では重要な問題であると考えていますが、意見などがありましたら、お聞かせください。</p>
事務局	<p>● ただ今の、家庭系のごみの有料化の話ですが、平成17年度に一般廃棄物処理の基本計画を策定し、その中で審議・議論をしてみました。</p> <p>基本的には排出者の、排出量に応じた、公平な費用負担の観点からは、ごみの有料化は非常に有効であろうと考えますが、宇都宮市は、今年の4月1日から、プラスチック製容器包装、白色トレイ・紙パックの分別収集が始まります。その実証など結果を踏まえて、特に減量等の効果を踏まえまして、今後は、廃棄物減量等審議会で審議をしていく形になるだろうと考えております。</p>
大久保会長	<p>● 他には、何かございませんか。</p>
橋本委員	<p>● 一つ確認ですが、先ほどの話の中で、環境の現状と課題については、もう少し、記述の内容は膨らむのでしょうか。</p>
事務局	<p>● 本編案につきましては、特徴的なところ、今後は見直しを考えていかなければならないところなどを中心に、まとめて行きたいと考えております。環境項目が多いということで全部を載せると、かなりのボリュームになってしまいますので、特に配慮すべきところ、宇都宮市として特徴的なところを、厳選して載せていくように心掛けてまいります。</p>
橋本委員	<p>● 先ほどの質問と同じですが、第2章をみますと、第1節の記述がかなりの部分を占めていて、現状認識というか、第3節の部分が非常に少ない。</p> <p>計画策定にとって、現状認識ということは、かなり重要になってくると思います。この辺を、もっと記述したほうがいいのではないのでしょうか。</p>
大久保会長	<p>● この点は、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>● 確かに、PDCAサイクルのチェック、アクションが見て取れるように、次回出すときには、チェックができるよう編集していくように考えております。</p> <p>今回は、チェックの部分についてはこの冊子（「宇都宮の環境」）で、まかなっていかうと、考えていたところですが、PDCAがきちんと見て取れるような表記の仕方がふさわしいと考えますので、今後はその点につきましても、心掛けたいと思います。</p>

大久保 会 長	● 他には、何かないでしょうか。
山田委員	● 先ほど、事務局から本編案を示していただいたわけですが、49ページ以降では、これからどういう社会を目指すかということで、とりまとめをしていくということであり ます。この市の計画そのものが、国や県の基本計画と整合性を保っていくのは、当然だ と思いますが、先ほど、副会長が言われました、河川の水質汚濁は宇都宮が源流でもな いため、広域的な問題、また、国や県にもとめていかななくてはならない、そういう課題 も出てくるのではないのでしょうか。 国や県にもある程度まで求めていかないと、宇都宮の計画自体が達成できない部分も あるという、全体像の捉え方も必要なのではないのでしょうか。
大久保 会 長	● このことについては、いかがでしょうか。
事務局	● たいへんありがたいご意見です。 確かに、宇都宮市の基本計画ですが、環境について幅の広い分野を対象とする中で、 どこまで計画をつくりこんでいくかということになります。策定の方針のところにあ りますように、役割分担としては、国・県との、守備範囲、お互いの作用の仕方にも配 慮して、目標とする環境像に到達するために、宇都宮市としてできること、他のところ に求めること、そういったところについても十分に配慮して目的達成の筋道が見えるよ うに努めて行きたいと思います。
大久保 会 長	● よろしいでしょうか。 他に何かございませんか。
木村委員	● 53ページに、基本理念を実現するための協働とありますが、その中で、「市民一人 ひとり」と「行政」、「市民や事業者の団体」、「各事業者」の分野別に分かれています が、以前、他の市の環境基本計画を見たときに市民としては何をするのか、事業者として は何をするのか、また、行政としては何をするのかを明確に分けながら、行動計画を作 ってあるものを見たことがあります。 現状と課題の中で、例えば、この7年間の中で、一番、取り組みが進んだものは何か、 課題がどこにあるのか、などを踏まえて、例えば、市民一人ひとりが、何をすべきか を、分けて記載してあると非常に分かりやすいのではないかと思います。どのように 考えていますか。
事務局	● 課題の整理のところ、主体別に課題を整理したほうが分かりやすい、ということ でしょうか。
木村委員	● 課題と課題に対しての今後の取り組みですね。行政としては、何を取り組んでいく のか、市民としては、何を取り組んでいくべきなのかが、分かっていると、非常にわか りやすいし、行動を起こしていく上で、明確になるのではと思われま。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 53ページでは、基本的な考え方としての、協働のイメージを示しましたが、実際には、これ以降、それぞれ施策の体系の中で、分野別にどういった政策を行なっていくかという記述になるかと思われます。 その中で、宇都宮市第5次総合計画では、大きな柱ごとに、市民・事業者、行政がそれぞれどのようなことを行なっていくかということを一定の整理をした上で、説明に入るというスタイルをとっていますので、参考にしたいと考えております。 現計画の概要版にありますように、環境基本計画としては、現在のところ、8ページからですが、主体別の環境配慮指針という項目を立てており、今回もこのような項目立てをしたいと考えております。より具体的に日々の行動・実践に移せるようにということで、主体別に書き分けありますが、委員からいただいたご意見を反映させて、より分かりやすくまとめるよう努めてまいります。
大久保 会 長	<ul style="list-style-type: none"> ● よろしいでしょうか。 本日予定された、議題は全て終了しましたが、全体を通して何かありませんか。 では、最後に、その他ということで、事務局で何かありますでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ減量課長、「プラスチック製容器包装」等の分別について説明 ● 宇都宮地方气象台次長、配布パンフレット（温室効果ガス増加中）について説明
大久保 会 長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の説明に、ご意見等はございますか。
恩田委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 最近、カラスが増えており、カラスの影響で町の中のあらゆるところに、ごみが散乱している状況が、目につきます。カラスがごみステーションを荒らすことへの対策等は、環境部として、何かありますか。カラス防御ネットなどもあるようですが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● カラス対策は、重要な問題として取り組んでいるところですが、宇都宮市内には15,000ほごみステーションがあり、以前は市から、1自治会あたりに3枚のカラス防御用ネットを貸与しておりましたが、今は、地域まちづくり組織に交付しております、リサイクル活動推進補助金をご利用いただきまして、カラス対策等をお願いしているところです。
恩田委員	<ul style="list-style-type: none"> ● カラスの捕獲はしないのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● カラスの捕獲については実施しておりません。ごみ減量課としては、リサイクル推進員の研修の中で、カラス対策の専門の先生を、宇都宮大学からお呼びして、講演会を開いたり、自主的に各自治会ごとにカラス対策に取り組んでいただいております。
松江委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報や教育に関することになります。これから、新しいごみの分別が開始されます。これは市民にとってはストレスでもありますが、必要なことでありやらなくてはならないことで、自治会でも講習会などを実施してもらっており、市民の意識は高くなってきております。また、子供達も給食の後片付けなどを通して、手馴れた様子で上手に分別することが習慣づけられております。 ただ、みんなが努力して分別した結果が、このように再生加工され製品化されたというようなことを、市民に対してわかりやすく紹介していただけると、一層やりがいがあるかと思えます。それぞれ、集めたものが、ベンチになったり、パレットに再生加工されることなどを、具体的に紹介していただければありがたいです。 現在も、このようなことに対して広報していただいておりますが、ちょっとまだ、伝わりにくいところがあります。

	<p>スーパーなどでも、再生品を買おうとしても、思いのほか再生品は少なく、また、あまり再生品であることが記載されていないようなので、なかなか買うことができない状況です。</p> <p>物を再生して、新しい製品に作り変える事は、余計にコストがかかるのかもしれませんが、大事なことです。ぜひ広報して欲しいです。</p> <p>環境についても、県内・市内すばらしい自然環境があります。前にも少しお話ししたところですが、県内でも、世界でここにしか咲いていない花と言われる「シモツケコウホネ」などの貴重な動植物があります。そういったことはぜひ知らせていただきたいと、お願いした記憶がありますが、ただ、それをお知らせすることで、人が集まって絶滅のおそれのある植物がますます危うくなってしまふなど、心配な点もありますが、ぜひ、そういった情報を環境の教育に絡めて知らせていただきたいと思ひます。お願いいたします。</p>
大久保 会 長	● ただ今の、広報と教育関係については、どうでしょうか。
事務局	<p>● 環境問題は知っていただくこと、また知っていただくことで、それをヒントに次の行動につなげていくことが、とても重要なことでもあります。</p> <p>今、委員からご指摘があったように、より具体的で、次の行動につながるような情報を発信することは、非常に有効なことだと思ひますので、色々なメディアやネットワークを通して、周知啓発に、さらに努めてまいりたいと思ひます。</p>
事務局	<p>● 先ほど、松江委員からご指摘いただきました 4 月からのプラスチック製容器包装等の、ごみの分別につきましては、市民のみなさまには多大な協力をいただきますので、その成果につきましては、定期的にわかりやすいかたちで、広報誌、ホームページ、イベントなどを通してお知らせしていく予定です。</p> <p>その際には、どんなものに再利用されているかなど、わかりやすい形で伝えられるよう努めてまいりたいと思ひます。</p>
事務局	<p>● 宇都宮市の自然環境につきましては、本年度と来年度の 2 ヶ年にかけて自然環境基礎調査を実施しております。</p> <p>その結果につきまして、市のホームページなどに、どのように載せるかは、検討していく予定です。先程、委員よりご紹介があったような貴重な動植物である「トウキョウサンショウオ」や「ハッチョウトンボ」などの存在を知らせてしまうと、その採取者が現れ、捕獲され生態系があらされてしまう恐れがありますので、載せ方には気をつけて行きたいと思ひます。</p> <p>前回の自然環境基礎調査につきましては、「うつのみやの自然」(冊子)を市内の全小学校に、送付し環境教育にご利用いただいておりますので、今回につきましてもこの活用については検討してまいります。</p>
大久保 会 長	● 以上をもちまして、第 20 回宇都宮市環境審議会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。
閉会 : 午後 3 時 5 分	